

JSCT2016 参加レポート

勤医協中央病院 船山和光

2016年6月25日に、大阪市立総合医療センターで開催された、日本CT技術学会第4回学術大会（JSCT2016）に参加しました。

研究発表ですが、物理評価に加え、臨床的な内容が例年より多い印象でした。本学会は、討論時間が通常の3分より長い5分と設定されており、活発な討論が行われていました。

その他、Refreshers Seminarとして「X線CTの基礎」、「知っておくべき胸部CTの撮影テクニック」、「被ばく関連 ー装置の安全規格よりー」、Luncheon Seminarとして「腹部領域におけるCT造影技術 ー標準化に向けてー」の演題名で講演がありました。いずれも基礎的な内容が多く、実践的に役立つものでした。また、特別講演では、滋賀医科大学放射線医学講座 教授の村田喜代史先生より「胸部CT診断の現状と求められる画像」の内容で講演していただきました。大変興味深く勉強になるものでした。

現在のところ学術大会は、土曜日の1日開催ということで、北海道からの移動を考えると、開催場所にもよりますが、前日入り、翌日帰省のパターンが一般的となると思います。うまく時間調整できれば、ちょっとした観光なんかもできちゃいます。

私は、(やや広めの) おでこから血が滲むほど土下座をして、前日にお休みをいただき、姫路城を見学してきました。あいにくの雨でしたが、そのおかげで観光客が少なく、ゆっくり見学することができました。ついでに姫路名物?らしい穴子定食もいただきました。



大阪では、新世界で串揚げ、ジャンジャン横丁で串揚げ、鶴橋で焼き肉（カウンターのみ個人店、お店の人との会話が楽しかった！）、東梅田で串揚げ、ホテルの朝食で串揚げ、などなど、なにわグルメを堪能しました。

翌日は、大阪城、大阪ドームを見学しました。大阪ドームでは、ちょうど日本ハム戦が予定されていましたが、フライト時間の関係で断念。試合前の熱気だけ味わうのみで我慢し、帰路につきました。

来年は、まだ詳細は分かりませんが、金沢で開催されるようです。皆様も一度参加してみたいかがでしょうか。